

**製品名: ナトリウム利尿ペプチド受容体 B ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe86663**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	Calculated MW:117 kDa; Observed MW:148 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	Natriuretic Peptide Receptor B
別名	AMDM; ANPb; ECDM; NPRB; SNSK; ANPRB; GUC2B; NPRBi; GUCY2B
遺伝子 ID	4882
SwissProt ID	P20594
免疫原	ヒトナトリウム利尿ペプチド受容体 B の合成ペプチド

**背景**

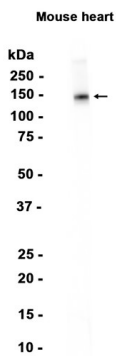
この遺伝子は、ナトリウム利尿ペプチド受容体 B をコードします。これは、ナトリウム利尿ペプチドに対する 2 つの膜貫通型受容体

の1つです。NPR1とNPR2はどちらも5つの機能ドメインを有します。細胞外リガンド結合ドメイン、単一の膜貫通領域、そして細胞内にはタンパク質キナーゼ相同ドメイン、オリゴマー形成に関与するヘリカルヒンジ領域、そしてカルボキシル末端のグアニリルシクラーゼ触媒ドメインです。このタンパク質はC型ナトリウム利尿ペプチド (CNP) の主要受容体であり、リガンド結合によりグアニリルシクラーゼ活性が大幅に亢進します。この遺伝子の変異は、アクロメソメリック異形成症 (Maroteaux型) の原因となります。[RefSeq提供、2008年7月]

## 研究分野

-

## 画像データ



1:1000 のナトリウム利尿ペプチド受容体 B ウサギモノクローナル抗体を使用したマウス心臓組織抽出物のウエスタンブロット分析。